

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ



2021-2022年度

会長：相羽繁生 幹事：久保哲政 広報委員長：森 正志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋銀行協会 名古屋市中区丸の内2-4-2 〒460-0002

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2021 October 27

■ 2021 ~ 2022 年度方針

ロータリーに参加し、楽しみ、奉仕しよう

NO.7

例会報告

●第2365回例会 令和3年10月27日(水) 晴

●10月は地域社会の経済月間/米山月間

●ところ 名古屋観光ホテル

●ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 87 名中 出席52名

(78)

出席率66.67%

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー 米山学友会会長 林 瓊さん

●ニコボックス

「米山の卓話を学友の林さんにさせていただきます。
林さん、和合へようこそ。よろしくお願いいたします。」

桑山卓也君

「この2ヶ月でいろいろありました。富島先生はなくなり妻は2回目の心臓手術、私は網膜中心静脈閉塞症となりました。」

林 邦司君

本日のニコボックス	2件	4,000円
累 計	30件	465,000円

タール・バーレーンの加盟が承認されました。加盟国数は130になりました。

18日に「カップヌードル」が新宿の伊勢丹で発売開始されました。ちなみに、発表は5月18日にすでにされていたようです。

1971年10月は、1日にアメリカのフロリダ州オーランドにウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートが開園。25年程前に行ったことがあります。

10日にNHK総合テレビが全放送のカラー化を開始。ちなみに、最初のカラー放送は1960年9月10日、全放送局のカラー化は1977年10月1日です。

12日にペルセポリスでイラン建国二千五百年祭が始まる。16日まで。ペルセポリスはペルシャ帝国の首都でした。

25日に中華人民共和国が国連に加盟

27日にコンゴ民主共和国が国名をザイル共和国に変更

以上でございます。ありがとうございました。

卓話

2760地区米山学友会会長 林 瓊
地区米山奨学委員会委員 桑山卓也

皆さんこんにちは。2760地区米山学友会会長を務める林と申します。今日名古屋和合ロータリークラブで貴重な時間をいただき、卓話の機会をくださいませ、ありがとうございます。

まず簡単に自己紹介させていただきます。長い海外ビジネス経験を活かしてコンサルティング業を行っております。

米山奨学事業は1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。財源はすべてロータリアンのみなさんからの寄付で成り立っています。この場を借りてロータリーの皆さんに深くお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生にはロータリー活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。そして米山学友になっても交流活動も続けてますので、米山学友とロータリーの繋がりが永遠に出来て、そして社会奉仕している姿も身近で見られることがほか奨学制度のない成果だといえます。また米山学友同士が、日本の言葉で「一期一会いちごいちえ」のように、異国である日本の地で、文化の違いや経済的にも苦しい時に支えられた米山奨学事業との運命的な出会いだけではなく、米山奨学生として経験したことは、米山学友の「絆」は時代を超え、民族を超え、国境を超えて強く築かれます。



米山学友会は米山奨学委員会のご指導、ご支援の元、

久保哲政幹事報告

▽当クラブ行事予定

・10月27日(水) 本日例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・11月3日(水) 休会(法定休日)

・11月10日(水) 18:00~ もみじ夜間例会

場所：名古屋観光ホテル

※名古屋銀行協会でのお昼の例会はございません。

・11月24日(水) 例会終了後、クラブアッセン

ブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。

※クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

※場所は、名古屋銀行協会です。

※本日、ご案内を配布しております。

相羽繁生会長挨拶

皆さんこんにちは。

まずは、米山学友会会長の林 瓊さんご来訪ありがとうございます。卓話を宜しくお願い致します。

本日の卓話は先ほど申し上げましたように米山学友会会長の林 瓊さんと当クラブ会員で地区米山記念奨学会委員の桑山卓也さんです。お二人から米山月間にちなんだお話を頂戴致します。宜しくお願い致します。

今日は遅くなりましたが50年前の9月と10月の出来事を遡ってみたいと思います。

1971年9月は、1日にカタールが独立。8月にバーレーンが独立しましたから中東の諸国ができたのは50年前と最近ですね。そして21日に国連総会が開催され、ブータン・カ

25年前に米山学友会が発足しました。仕事で社会奉仕しながら、ロータリーとの繋がり、学友同士の絆を深める役割を果たしています。

今年学友会は設立して25年になる節目の年で、米山学友会の活動を振り返りながら米山学友の絆及び米山学友の社会奉仕についてお話させていただきます。

まず米山学友会は米山委員会と共同で毎年開催される米山イベントを紹介します。また2760地区米山学友会と同地区米山以外のロータリー組織、ロータリーファミリー、またほか地区米山学友会の交流もしてまいりました。ほか単独主催で食事会、相撲観戦、オリンピック観戦を実施。東日本大震災時に寄付金、昨年から養老施設にマスクを寄付。

米山学友の集まりから世界米山大会の誕生の話。

2010年7月17日中国第二回米山学友会総会が中国上海万博期間中に盛大に開催されました。日本全国からロータリアンと家族を含め250名、米山学友170名、総勢420人参加の大イベントです。米山奨学事業はこれまで支援した奨学生は129の国と地域、22267人です。その内中国人出身者は最大34.6%を占めています。しかし第一回目中国米山学友会総会を開催された際、出席者は只の3名日本人ロータリー関係者なため、少し寂しい大会でした。二回目の盛況になることは誰も考えもよらない結果となりました。現中国学友会の前身である上海学友会は、中津川ロータリークラブが支援の下で設立。その時の学友会の中心メンバーは2630地区と2760地区の学友でした。中津川ロータリークラブに長年に渡って金銭的の支援もありました。その後北京の姫軍さんらと合流し、中国学友会に中心的な役割を果たして、色んな調整と呼びかけ、地道の努力した結果、中国米山学友会が正式設立、この二つの地区の米山関係者にとっては中国学友会総会は色々なことを思い出した感無量の大会でした。

2760地区、2630地区米山奨学委員会、中津川ロータリークラブのロータリアンと家族、そしてこの2地区の学友を含め、総勢45名一緒に学友会総会を出席。上海万博、上海市内観光、蘇州観光も一緒に同行しました。日本全国の米山学友会は中国米山学友会を応援し、ロータリアンとの交流、学友同士の交流で、お互いに好意と友情を深めることが出来ました。

その後、2016年韓国・ソウルロータリー国際世界大会での米山学友の集まり、2017年熊本での第一回米山学友世界大会、2018年財団設立50周年記念式典にも参加。

2019年7月25日～7月29日(公財)ロータリー米山記念奨学会の齋藤直美理事長をはじめ、2760地区米山委員、米山学友・奨学生など総勢20人でモンゴル・ウランバートルへ、モンゴル米山学友会主催「米山学友による第2回世界大会「絆inモンゴル」」に参加してきました。

まず、ジャンチブ・ガルバドラッハさんが理事長を務める新モンゴル学園を見学。続いて米山学友世界大会「絆inモンゴル」に参加。式典には、世界16の国と地域から米山学友とロータリアンなど400人以上出席されました。式典にはモンゴル米山学友が感謝の気持ちを込めて作った歌「米山の絆」「僕ら同胞、心は一つ 共にいると、幸せいっぱい」も披露しました。感動と感謝の気持ちが会場中に広がる、大成功の大会でした。

2760地区米山学友は各行事に積極的に参加することによって、他地区や海外米山学友同士の交流を図り、友情を深めて、米山学友独自のネットワークもできています。

続きまして、米山学友の社会奉仕について紹介します。

韓国出身の米山学友、権哲賢(クオンチョルヒョン)さんは、第18代駐日韓国大使として就任し、「日本と韓国の“近くて遠い関係”を“近くて近い関係”にすることが自分のロータリーへの恩返し」と語っています。

中国北京で弁護士として活躍している姫軍(ジジュン)さんをご紹介します。

ジジュンさんは北京大学で大学卒業、東京大学で修士学位、ハーバード大学で博士学位取得、その後北京で国際弁護士として社会奉仕しています。ジジュンさんの顧

客の6割は日本企業です。特に2007年、ヤマハ発動機を原告とする商標権侵害訴訟では、渉外商標権の損害賠償額として過去最高の830万円(1億2～3千万円)を勝ち取り、日本でもニュースで報じられました。ジジュンさんはまた、2007年から毎年50万円を連続で米山奨学会へ寄付してくれており、謝礼など含めトータル800万弱(750万以上)の寄付をしています。

ジャンチブさんは世話クラブのロータリアンの支援の元で、モンゴルで「新モンゴル学園」設立、幼稚園から大学まで日本式の一貫教育体制を採用し、国際社会で通用する人材を育てています。卒業生のうち1/3は海外の日本やアメリカ、中国、イギリスなどに留学生させています。2020年度まで総計2000名の卒業生です。モンゴルの教育分野、国際社会への貢献で成功を収めています。モンゴル大統領や日本の安倍首相夫人が訪問するほどの有名校で、ジャンチブさんは、最初ロータリアンの支援を受ける側から、自らもロータリアンとなり、モンゴルの若者の教育を支えるという、支援側に回って、国際社会で架け橋の役割を十分果たせた優秀な米山学友です。

2011年、東日本大震災が起きたとき、発生直後から日本の無事を願うメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から760万円の義援金が送られました。

米山奨学会への寄付は、ロータリアンだけではありません。学友からも、義援金以外に、累計3,980万円の寄付をいただいています。こうした「寄付」という形での恩返しは、他のプログラムではあまりみられない、米山学友ならではのものだということです。

大成功している米山学友がいますが、それより皆さんが奨学金を頂いたときの感謝の気持ちを忘れず、勉学や仕事に励んで充実した日々を送って、仕事を通じて社会奉仕、国際奉仕を実現、その上、日頃、笑顔や優しい言葉で周りの誰かを励ましたり元気づけたり、また、困っている方に支援の手を差し伸べることができれば、社会奉仕で恩返しになるではないか考えております。「米山」の誇りと縁に感謝し、今後も米山記念奨学事業の発展を祈念し、世界平和のため、米山学友の輪をさらに広げて行きたいと思えます。私個人としても、長年の海外ビジネス経験を活かして、日本と中国の架け橋として社会奉仕し続けて行きます。またロータリーのみならずにも引き続き米山奨学事業を支援していただきますようお願い致します。

学友会はロータリアンの支えによって、成り立っています。このご縁を一生大切にしていきたいと思っております。以上をもちまして、2760地区米山学友会会長として、卓話を致します。ありがとうございます。

●第4回理事会(令和3年10月27日(水)例会終了後名古屋観光ホテル)

- 1 年末会員家族懇親会の件
- 2 諮問委員会報告の件
- 3 例会場の件
- 4 50周年記念事業の件
- 5 その他

●11月度誕生日祝福

会 員

ご 夫 人

佐藤公俊 君(11月10日)	須賀邦一郎 夫人(11月5日)
内間三好 君(11月21日)	吉田正道 夫人(11月6日)
鷲塚貞長 君(11月27日)	長澤功雄 夫人(11月7日)
	林 邦司 夫人(11月17日)
	本多國泰 夫人(11月21日)
	加藤久直 夫人(11月23日)
	近藤東臣 夫人(11月28日)

例会	月日	今後の予定
第2367回	11. 17	福田哲三地区ロータリー財団委員会副委員長(名古屋和合RC会員)「ロータリー財団プログラムについて」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。